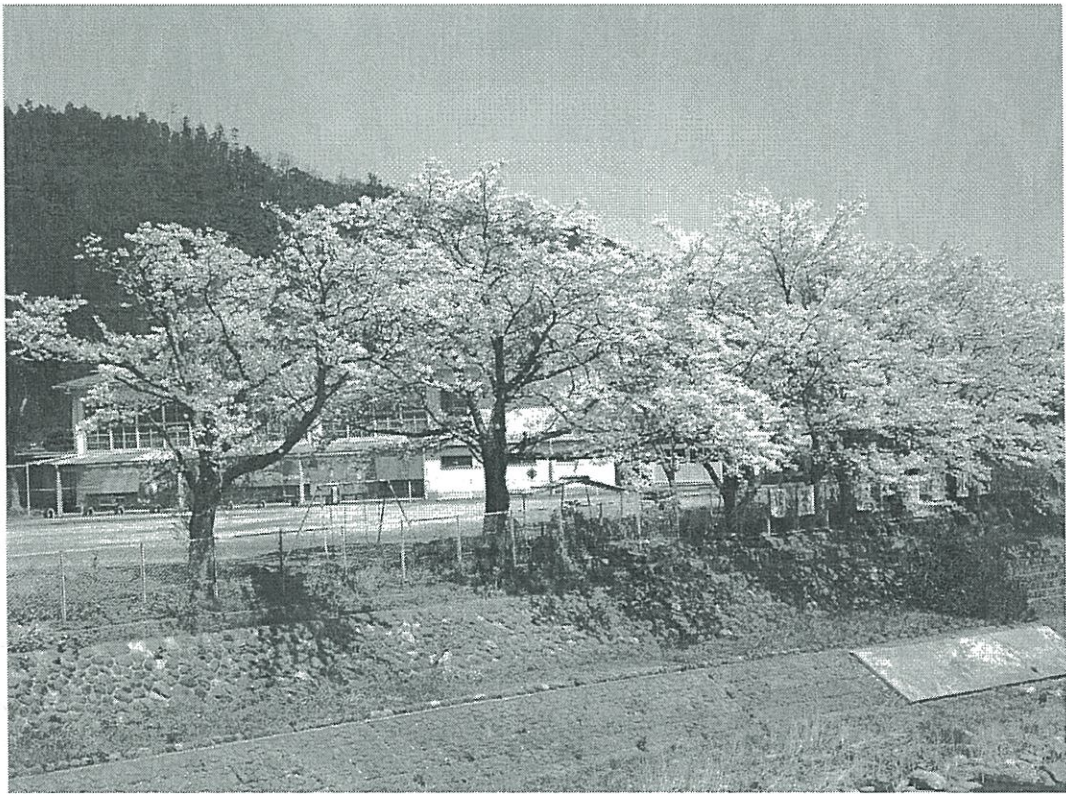


小鷲河地区まちづくり計画



平成22年4月

小鷲河ふる里をまもる会

その壱 はじめに

小鷲河地区は、鳥取市鹿野町の南部に位置しています。中国山地に属している中山間地域（一部は山間地域）で、秀峰鷲峰山と河内川に育まれた豊かな自然で溢れています。

明治 22 年の『明治の大合併』により、小別所村、鷲峰村、河内村が合併し小鷲河村となりました。村名は、それぞれの頭文字を取って決めたといわれています。この当時は、鷲峰に役場を置いていました。昭和 30 年には『昭和の大合併』により、鹿野村、勝谷村、小鷲河村が合併し鹿野町となり、平成 16 年には『平成の大合併』により、鹿野町は鳥取市鹿野町となりました。

当地区においては、平成 21 年 3 月 26 日に小鷲河地区まちづくり協議会である『小鷲河ふる里をまもる会（以下「まもる会」という。）』が設立されました。まもる会は、設立当初よりまちづくりの基本となる「まちづくり計画」の策定を目指し、アンケート調査や先進地視察、役員会等を行い、検討してきました。

この計画は、まもる会が今後取り組む活動方針や内容を示すとともに、小鷲河地区の活性化を目指すものです。地区民の団結で、これからの小鷲河地区の発展を目指しましょう。

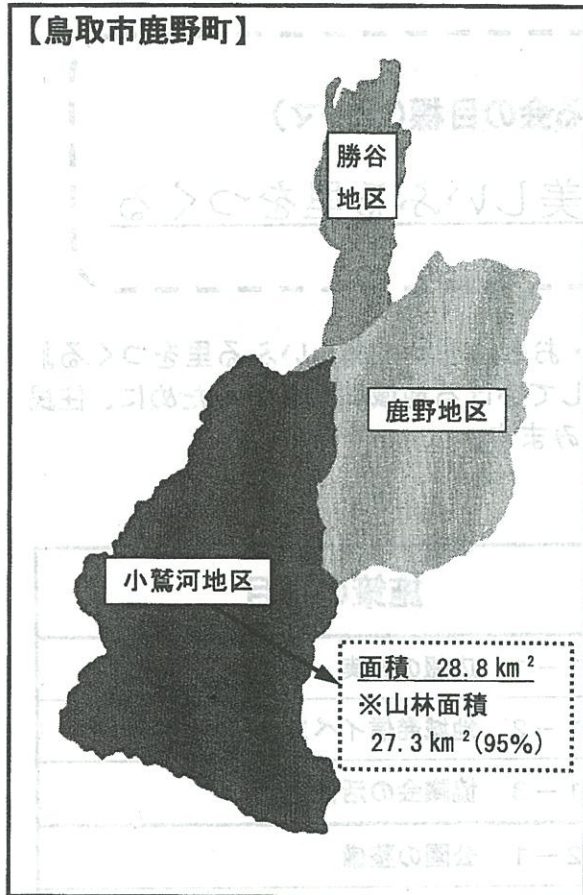
平成 22 年 4 月

小鷲河ふる里をまもる会

会 長 池原 宏

その弐 小鷲河のデータ

【鳥取市鹿野町】



【位置及び区域】

小鷲河地区は、鳥取市中心部から西に約25 kmに位置し、秀峰「鷲峰山」をはじめとする山々に囲まれ、南北に「河内川」が流れ、自然豊かな環境が整っています。

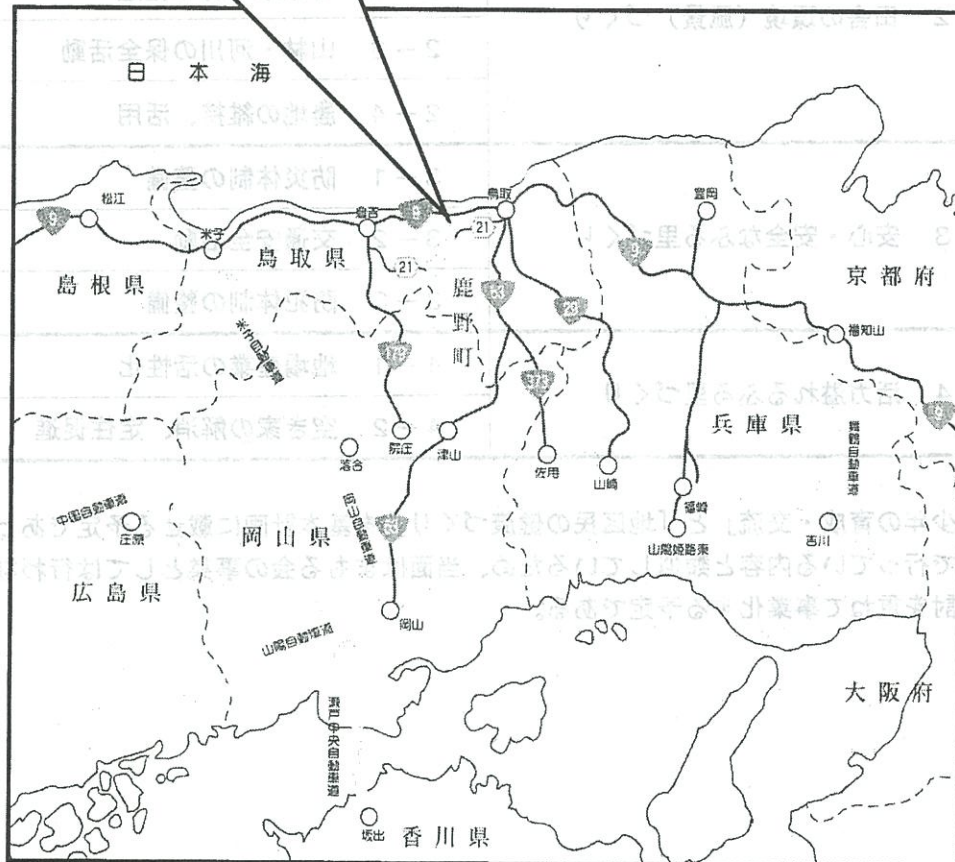
小鷲河地区は、古仏谷、小別所、来日、鷲峰、矢原、河内下、河内上の7つの集落により形成されています。

【人口・世帯数】

- ・人口 635人
 - ・世帯数 192世帯
 - ・高齢化率 36.9%
- (平成21年12月31日現在)

【その他】

- ・産 業
 - ほとんどが1次産業の農林業であり、働く場である事業所はわずかで、職場や買物は地区外となっています。
- ・公共施設
 - 小鷲河地区公民館（集会所）
- ・公 園
 - コミュニティ施設（旧小鷲河小学校）、かじかの里公園、花巻公園、河内河川公園、他各集落の公園



その参 まちづくり計画の概要

小鷲河ふる里をまもる会の目標(テーマ)

楽しい、おもしろい、美しいふる里をつくる

小鷲河ふる里をまもる会は、『楽しい・おもしろい・美しいふる里をつくる』ことを目的とします。安全・安心に暮らしていける地域にしていくために、住民が一丸となってまちづくり計画に取り組みます。

まちづくりの目標	施策の項目
1 ふる里づくりの推進	1-1 広報の充実
	1-2 地域発信イベント
	1-3 協議会の活性化
2 田舎の環境(風景)づくり	2-1 公園の整備
	2-2 各集落の緑化推進
	2-3 山林・河川の保全活動
	2-4 農地の維持、活用
3 安心・安全なふる里づくり	3-1 防災体制の整備
	3-2 交通安全活動
	3-3 防犯体制の整備
4 活力溢れるふる里づくり	4-1 地場産業の活性化
	4-2 空き家の解消、定住促進

※「青少年の育成・交流」と「地区民の健康づくり」を基本計画に載せる予定であったが、公民館事業で行っている内容と類似しているため、当面はまもる会の事業としては行わない。将来的には検討を重ねて事業化する予定である。

その四 まちづくり事業計画

1 まちづくりの推進

1-1 広報の充実

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①地域情報誌の発行	3ヶ月に1回、まもる会通信を発行し、各戸配布する。	○	○	○	○
②ホームページの更新	まもる会のホームページを随時更新する。	○	○	○	○
③各種事業でPR	まもる会の事業等について、各種事業を開催するときにPRする。	○	○	○	○

1-2 地域発信イベント【重点事業】

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①鷺峯おろし音楽会の開催	鷺峯おろし音楽会の継続開催に向けて、協力していく。	○	○	○	○
②運動会の開催	運動会の継続開催に向けて、協力していく。	○	○	○	○
③公民館まつりの開催	公民館まつりの継続開催に向けて、協力していく。	○	○	○	○
④ジゲの川で遊ぼう	河内川でヤマメのつかみ取りを行い、地元の川の良さを知ってもらう。	○	○	○	○
⑤その他	有効な事業の検討を行う。	△	○	○	○

1-3 協議会の活性化

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①総会、役員会の開催	総会、役員会を開催する。	○	○	○	○
②部会の開催	部会を設置し、専門的に事業等検討する。	○	○	○	○

2 田舎の環境(風景)づくり

2-1 公園の整備【重点事業】

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①コミュニティ施設の整備	旧小鷺河小学校校庭とかじかの里公園を地区民の憩いの場として整備する。	○	○	○	○
②その他の公園の整備	花巻公園、河内河川公園などの地区民の憩いの場を整備していく。	△	△	△	○

2-2 各集落の緑化推進

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①各集落での緑化推進の強化	各集落に苗木や花の苗を提供し、緑化の推進（意識の向上）を図る。	○	○	○	○
②地域住民による緑化推進への協力	地域住民による緑化の推進事業への協力をを行う。（随時）	○	○	○	○

2-3 山林・河川の保全活動

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①河内川のヨシ刈り	河内川のヨシを刈り作業を行う。	○	○	○	○
②ジゲの川で遊ぼう（再掲）	河内川でヤマメのつかみ取りを行い、地元の川の良さを知ってもらう。	○	○	○	○
③山林の調査・研究	豊かな自然溢れる山林の維持と活用に向けて、調査・研究を行い、今後の事業に反映させる。	△	△	△	○

2-4 農地の維持・活用

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①荒廃農地の把握	荒廃農地の把握を行う。	△	△	△	○
②荒廃農地の活用策	荒廃農地の活用策を考える。	△	△	△	○

3 安心・安全なふる里づくり

3-1 防災体制の整備

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①防災施設の確認	防災施設（設備）の場所や現状の確認と、問題点等の検討を行う。	△	△	△	○
②防災マップの作成	危険箇所、防災施設（設備）等を記載したマップを作成する。	△	△	△	○
③自主避難マニュアルの作成	災害時の避難マニュアルを作成し、周知を行う。	△	△	△	○
④災害時の高齢者世帯への対応	自治会、民生委員等との連携により、リストの作成と支援体制の確立を行う。	○	○	○	○
④防災訓練の実施	防災訓練を実施する。	○	○	○	○

3-2 交通安全活動

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①危険箇所の確認	道路等で危険な箇所を把握し、改善に努める。	△	△	△	○
②交通安全研修の実施	交通安全についての研修を行い、交通事故の防止に繋げる。	△	△	△	○

3-3 防犯体制の整備

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①防犯設備の検討	防犯設備の現状把握と必要性について検討する。	△	△	△	○
②防犯対策研修の実施	防犯対策について研修会を行い、防犯に対する意識を高める。	△	△	△	○

4 活力溢れるふる里づくり

4-1 地場産業の活性化

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①農業の広域連携	集落を超えた農業の連携（稲作）を行い、農業の衰退を防ぐ。	△	△	△	○
②特産品の開発	小鷲河地区の特産品の研究を行い、農業の活性化へ繋げる。	△	△	△	○
③振興公社の設立	①～②等を実施する農業法人及びNPOを設立し、小鷲河地区の発展へ繋げる。	△	△	△	○

4-2 空き家の解消、定住促進【重点事業】

事業案	事業の内容	実施時期			
		H22	H23	H24	H25～
①空き家の把握、連携	現在、空き家（農地）となっている物件の把握を自治会と連携して行う。	△	○	○	○
②空き家の提供、連携	空き家（農地）物件を売買、賃貸できるように、自治会と連携して持ち主と交渉する。U・I・Jターン希望者の受け入れによる定住対策を行う。	△	○	○	○

その五 主な事業

健康安全委員会 S-2

健康安全委員会				内容の要約	事業
H24	H23	H22	H21		
○	○	○	△	1 じげの川で遊ぼう	① 児童の健康増進



2 鷲峯おろし音楽会

児童会の音楽部 S-4

児童会				内容の要約	事業
H24	H23	H22	H21		
○	○	○	△	鷲峯おろし音楽会	① 児童の音楽活動の推進



【事業計画】 児童会、児童の健康増進 S-4

健康安全委員会				内容の要約	事業
H24	H23	H22	H21		
○	○	○	△	鷲峯おろし音楽会	① 児童の健康増進

3 かじかの里公園周辺整備事業



4 河内川のヨシ刈り



5 緑化推進事業

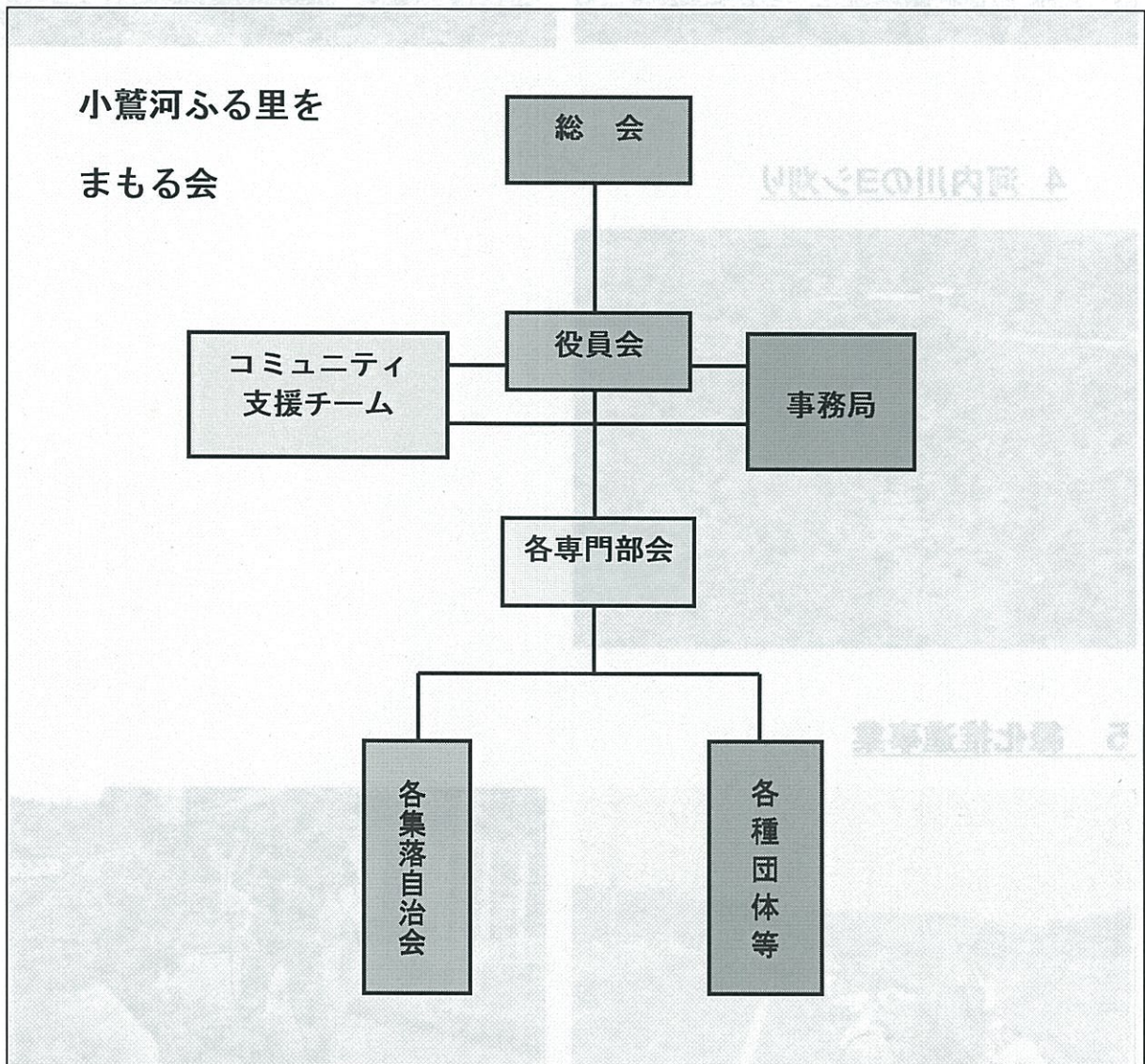


その六 組織

1. 役員

会長	1名
副会長	若干名
会計監査	2名
事務局長	1名（地区公民館長）
会計	1名（地区公民館主事）
庶務	1名（地区公民館主事）

2. 組織図



その七 まちづくりアンケートの結果

- (1) 実施目的 ①安心して豊かに暮らせるまちづくりを実現するために策定する「小鷺河まちづくり計画」に幅広い地域住民の意見を反映する。
②小鷺河のまちづくりについて住民への周知と参加を促す。
- (2) 実施時期 平成21年7月23日～8月23日
- (3) 対象者 小鷺河地区在住の中学生以上の方
- (4) 回収数(率) 442人 (72%)

平成21年7月23日から8月23日にかけて「小鷺河まちづくりアンケート」を実施しました。対象者は中学生以上の全住民615名で、そのうちの72%、442名の方が回答されました。回答者の内訳は、男女別ではほぼ半々、年代別では20歳代以下が15%、30～50歳代が38%、60歳代以上が47%という結果になりました。

アンケートの結果をみると、小鷺河地区が住みやすい所であり、愛着を感じておられる人の多いことがわかりました。また、自然環境の豊かなこの地区に今後も住み続けたいとする人が多いこともわかりました。その一方、市街地から離れて地域であるために、交通、通学、買物等に不便を感じる人が多いという現実があります。「まもる会」だけでは解決できない問題ですが、行政とも協力し合って改善を図っていかなくてはなりません。

1. 小鷺河の良いところ

小鷺河地区は住みやすい地域だと思いますか。

まあ住みやすい	48.4%
住みやすい	29.4%

小鷺河地区に愛着を感じていますか

愛着をやや感じている	40.9%
とても愛着を感じている	34.5%

小鷺河地区に残しておきたいと思うことは何ですか。

安心して暮らせる住環境	47.9%
豊かな自然環境	35.8%
隣近所との付き合い	15.1%

今後も小鷺河地区に住み続けたいですか。

今後とも住み続けたい	53.7%
当分は住み続けたい	21.6%

2. 小鷺河地区に対する不満

日常の買物が不便	29.3%
道路事情や交通の便が悪い	25.3%
町内に適当な職場がない	18.9%
地域の行事や近所づきあいが面倒	12.4%
消防、防災、防犯体制に不安を感じる	6.8%
子供の保育・教育のことが心配	4.8%

3. これからの小鷲河地区に望むこと

良好な生活環境の整ったまち	23.7%
道路が整備され、通勤、通学、買い物が便利なまち	15.9%
台風や大雨、地震などの災害に強いまち	14.9%
景観が整備され、四季折々の風景が楽しめるまち	13.0%
高齢者や子ども、障がい者を大切にするまち	12.3%
農業、林業が盛んなまち	7.5%
学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち	4.8%
たくさんの人々が訪れるまち	3.7%
スポーツ、健康づくりが盛んなまち	2.8%

4. 具体的な取り組みの要望

① 自然環境や生活環境の保全

不法投棄などの取り締まりの強化	19.4%
緑あふれる景観づくりの推進	15.6%
ゴミの減量化・リサイクル活動の支援	15.0%
地区の清掃活動	14.1%
河川の水質浄化対策の推進	12.8%
自然保護運動の支援	10.9%
環境保全意識の啓発	10.9%

② 高齢者への取り組み

地域で見守るような住民の助け合い	39.7%
生きがいづくりや働く場の充実	25.8%
学習の機会や健康づくり、スポーツの充実	17.9%
高齢者と若い世代の交流の機会の充実	15.5%

③ 子育ての取り組み

子育てに関する相談、学習、交流事業の充実	47.3%
学習保育の充実	24.1%
子育て関係団体、ボランティアのネットワークづくり	23.8%

④ 消防・防災の取り組み

防火・防災意識の啓発活動の充実	47.8%
災害時における要援護者（高齢者、障がい者）の避難、救助等の体制整備の確立	23.9%
自衛消防団の体制の充実	17.8%
消火・防災訓練の充実	7.9%

その八 おわりに

小鷺河地区をとりまく現状にはなかなか厳しいものがあります。高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）が36.9%という数字に表れているように少子高齢化が進み、高齢者の人数が多く、高校生以下の子どもたちが極端に少なくなっています。

住民の高齢化と農林業の不振により、耕作放棄地が増加し、間伐などの手入れがなされずに放置されて山林の荒廃も進んでいます。人口の減少とともに空き家が増加しています。

公共交通機関が減便され、日用品や食料品の購入、医療機関への通院等も不便になっています。また、事業所の相次ぐ閉鎖により就業機会も減少しており、結果として若い人たちの減少につながっています。

このような現状を少しでも打破して、「楽しい、面白い、美しいふる里をつくる」ことを目的として昨年3月に「小鷺河ふる里をまもる会」を結成しました。その後1年間かけて「小鷺河地区まちづくり計画」を作成して、地域のみなさまに配布させていただくことになりました。

この「まちづくり計画」には不備な点が多々あるかと思えます。今後は計画書を実行に移すとともに、みなさまのお知恵をお借りして計画書をよりよいものにしていきたいと考えております。地域内で活動しておられる諸団体、個人のみなさま方の賛同を得て、さまざまなアイデアを出していただきながら小鷺河地区の活性化を目指しましょう。どうかよろしくお願いします。

平成 22 年 4 月
小鷺河地区公民館
館 長 遠藤 眞文

